坂戸市立坂戸小学校　笑顔・感動・花いっぱい

夢道場・坂戸小だより

【学校教育目標】
○やさしく　（徳）
○かしこく　（知）
○たくましく（体）

学校経営方針　「明るく　元気に　爽やかに　すべての対応を親身になって丁寧に」

令和３年１０月２２日
第１４号

光る汗、弾ける笑顔！　一致団結『令和３年度 坂戸小・大運動会』!!

【運動会スローガン】『心を燃やせ!!全力で優勝を目指す運動会！』　１０月１４日（木）

今年度も、新型コロナウイルス感染症予防策や熱中症対策を講じながらの取組でした。深刻な状況が続く中、昨年度の取組を振り返りながら、何度も内容や練習日程等、運動会のあり方を繰り返し検討に検討を重ねてきました。当初予定していた日程が、緊急事態宣言の延長下になったため、期日を延期しての開催。さらに雨天のために翌日に延期し、10月14日（木）、秋晴れの澄み渡る快晴の中で、運動会本番を迎えることができました。これまで保護者の皆様のご理解とご協力、そして、何よりも子供たちの熱い想いが後押しをしてくれました。今年度は、スローガン『**心を燃やせ！！　全力で優勝を目指す運動会**』を掲げ、全員が、「この運動会を絶対に成功させよう！」という強い気持ちで、全校一丸となって取り組んできました。これまで、子供たちは、汗や埃にまみれ、時には歯を食いしばり、励まし助け合いながら、限られた練習時間にもかかわらず一生懸命に練習や準備に取り組んできました。その熱い想いを胸に、本番のこの日、子供たちは、力の限りその成果を思う存分に発揮しました。諦めずに最後まで全力を尽くす姿、仲間と心と技を一つにして頑張った集団演技、学年を超えて一生懸命に仲間を応援し、励まし、称え合う姿の数々。大変に立派でした。

運動の得意な子も、運動がどちらかというと苦手な子も、一人一人が自分のめあてや目標をしっかりともって、力を合わせ、これぞ坂戸小学校と言える、この世界にたった一つしかない最高の運動会を創りだすことができました。全国的なコロナ禍の不安や辛さを跳ね返すがごとく、たくさんの光る汗と弾ける笑顔、そして、温かい心が一つになって、148年の長き歴史と伝統を誇る坂戸小学校にふさわしい確かな**「感動の運動会、感動の歴史」**を刻むことができたと確信しています。保護者の皆様には、子供たちに惜しみないたくさんの拍手と温かい心の中でのエールを贈っていただき、本当に有難うございました。運動会の成功も、保護者の皆様の日々の影のお力添えがあってのことです。ご家庭での励ましや体調管理などのご協力はもとより、当日も、たくさんのPTA保護者役員の皆さんには準備から運営、後片付けと最後まで多大なるご尽力をいただきました。改めて感謝を申し上げます。

今後とも、このかけがえのない坂戸小学校683名の子供たちへの惜しみない応援を、どうぞよろしくお願いいたします。

令和3年度の運動会を無事に実施することができ、子供たちが精一杯力を発揮することができたのは、保護者・地域の皆様のご協力のお陰です。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開閉会式、応援合戦、演技の公開（関係保護者2名）に制限し、競技の公開を控えさせていただいたことに際してもご理解いただき誠に有難うございました。

公開することのできなかった競技等を含めて、近日中に Google　classroom にて撮影した動画を公開させていただきます。スナップ写真につきましても、ご希望で購入していただけるようご案内いたします。よろしくお願いいたします。

これぞ坂小っ子たちの「力」と「技」、そして「団結力」！ たくさんの感動をありがとう！！

【黄組団】による応援合戦

【赤組団】による応援合戦

【青組団】による応援合戦

1年生　演技「全集中 元気いっぱいの呼吸 壱年生1型～紅蓮華～」

2年生　演技「Dynamite～SZBTS～」

3年生 演技「レッツ ハンドクラップ！～おどれ、ブロッコリーたち～」

4年生　演技「坂小に駆ける２０２１」

5年生　演技「集団行動・ソーラン節「輝け！HERO！」

6年生 演技『マスゲーム・組み立て体操「希望の光へ」』

1年生　競技「たまいれっち２０２１」

2年生　競技『つなげ！せい火リレー！』

3年生　競技『ねらって投げて!!ピンポイント玉入れ!!』

4年生　競技『空飛ぶ大玉☆リレー』

5年生　競技『バラエティリレー』

6年生　競技『全員でかけぬけろ!!』

【校長室より】　「心配」とともに「心配り」の共育を～「目配り、気配り、心配り」の大切さ～

「教育の道は、家庭の教へで芽を出し、学校の教へで花が咲き、世間の教へで実が成る」（幡羅高等小学校『家庭心得』より）。子供たちの健全育成に欠かせない3つの教育。則ち、家庭教育、学校教育、社会（地域）教育。教育の道には、三者の「共育」が必要だと常々思っている。教育においても耳目によく触れる、「目配り・気配り・心配り」の「三配り」。それぞれの意味合いは異なるが、感染症拡大や熱中症等の「心配」が尽きない状況の中で、今年度の運動会でも子供たちを取り巻く大人たちの沢山の「心配り」を身に染みて感じた。日常生活はもとより、子供たちが自らの体験を通して大きく成長する行事でも、その過程において子供たち変容の姿を見逃すことなく、成長を促すために大切な「三配り」。特に「心配り」は欠かせない。危機管理としての「心配」とともに、子供たちへの「心配り」を今後も大切にしたい。大きな行事を全員で成し遂げた貴重な体験、大きな感動。子供たちが今後に生かしてくれることを大いに期待している。